

第6分野	教育指導
解説	職員教育の目的は業績の向上であり、その目的のため1) 基本的な態と習慣作り、2) 思考力、理解力、表現力の養成、3) 意識の向上(思想教育)などがある。職員の能力を引き出し「やる気」を起こさせ自発的な行動や成長を促し目的達成のサポートをする。自己啓発をしやすいように援助促進策(1.自己啓発の雰囲気づくり2.機械の提供3.経済的・時間的援助4.自己啓発を仕事に結びつける)も必要となる。
	<社員教育の方法> 1.社員教育の方法のOJTとは On the job trainingの意味で上司が仕事を通じて部下を指導・育成していく能力開発する手法である。「仕事を通じて」が特徴である。よって日常の業務に従事しながら行われるが、ただ業務に従事しながら行えばいいというものではなく達成目標の水準と実施機関をあらかじめ定めたスケジュールで「計画的」に必要である。さらに上司が日常業務の指示や監督を通じて部下の能力や特性を把握でき、かつ業務の状況や部下の状態を考慮しながら教育できる。しかしOJTの問題点として 次第に上司がOJTに対する関心が低下する 上司が日常の業務に追われてOJTを行えなくなる 職場の人間関係を配慮するあまり部下に注意ができない OJTの内容や推進方法がわからない OJTの成果が上司能力や経験・知識によって左右されるなども問題点がある。職場内教育ともいう。 2.OFF・JTとは集合教育・研修の事である。目標をもったプログラムにそれを習得しようとする社員が参加して行われる教育訓練・研修である。このOFF・JTはある階層を対象にした階層別に用意された集合研修「階層別教育・研修」と基本知識技能を習得する「職能別研修」がある。職場外教育、集合教育ともいう。よって専門団体やコンサルタント会社の教育プログラムに参加する場合でも自社のニーズにあったものが評価する事が大事である。 3. 自己啓発は、OJTなどのように教える者がなく本人だけで行う研修である。よって何よりも本人に自己啓発にしようとする意識がなければ効果がない。誰かが教えてくれるだろうという受け身ではなく自発的な行動を起こし、成長し常に向上しようという気持ちが大切である。自己啓発はまず「やる気」を起こさせること、また「やる気」のあるものでは自己啓発をしやすいように援助促進策が必要である
	<違法指導> 違法改造等を指摘するためには、駐車場の巡回を定期的に行わなければならない。そして、もし改造された車両を確認したときは、その所有者に対して指導を行わなければならない。該当する車両は道路交通法に違反していることを指摘し、青仁会のマイカー通勤規定にも違反していることを指摘する。違法改造は事故を誘発する原因になることが多く、また迷惑となることも多い。法規制があるということは、守らない場合にはいろいろな面に影響があるために規制されているものであることを指導する。 本人がどうしても理解できないような場合は、マイカー通勤を禁止するなどの措置をとるなどの対応をしなければならない。また、その旨を本人の所属長に報告しておく必要がある。 あくまでも、注意指導を聞き入れない場合や注意指導後改善されない場合が対象であり、即刻禁止というわけではない。

例題	新人研修導入の内容について述べてください
解答	新入職員が業務に従事する前に組織人、職業人としての自覚をもつように行う。導入研修では、新入社員が一刻でも早く職場に溶け込めるような雰囲気作りが必要である。また学生気分を改め社会人になった自覚と責任を植え付け、社会人としての守るべきルールや規定を教える事が必要である。
例題	職員教育の手法を述べなさい
解答	OJT OFF・JT 自己啓発
例題	OJTの活用について述べよ
解答	上司が仕事を通じて部下を指導・育成していく能力開発する手法である。「仕事を通じて」が特徴である。よって日常の業務に従事しながら行われるが、ただ業務に従事しながら行えばいいというものではなく達成目標の水準と実施機関をあらかじめ定めたスケジュールで「計画的」に必要である。さらに上司が日常業務の指示や監督を通じて部下の能力や特性を把握でき、かつ業務の状況や部下の状態を考慮しながら教育できる。しかしOJTの問題点として 次第に上司がOJTに対する関心が低下する 上司が日常の業務に追われてOJTを行えなくなる 職場の人間関係を配慮するあまり部下に注意ができない OJTの内容や推進方法がわからない OJTの成果が上司能力や経験・知識によって左右されるなども問題点がある。職場内教育ともいう。
例題	OJT導入の問題点の解決法とOJTの進め方のプロセスを図示しなさい
解答	問題点 ・OJTの重要性を認識させる ・指導担当者に対する教育を充実させる ・OJTを制度化する ・集合教育との結びつきを強化する ・部下自身に自己啓発を促す 基本的な推進方法は、計画を立て、実行し、実施成果を評価する <pre> graph TD A[指導ニーズの把握] --> B[指導目標の設定] B --> C[指導計画の作成] C --> D[OJTの実施] D --> E[実施結果の評価] E --> A </pre>